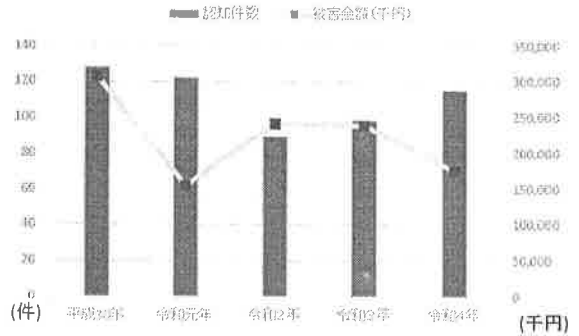


堺市の特殊詐欺の情勢

堺市の被害状況推移(過去5年)

※ 被害金額は、千の位を四捨五入した額を示す。

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
認知件数	堺市	128	122	89	98	115
	大阪府	1,771	1,809	1,107	1,538	2,064
被害金額	堺市	3億670万	1億5,412万	2億4,079万	2億3,805万	1億7,480万
	大阪府	37億4,814万	25億1,847万	22億4,806万	24億1,441万	31億9,115万



堺市各区の被害状況

※ 令和5年6月末の数値は速報値を示す。

令和4年	認知件数	前年比(件)	被害金額	前年比(円)
堺市	115	+17	1億7,480万	-6,325万
堺区	24	+5	2,808万	-187万
北区	19	-3	2,282万	-5,115万
西区	24	+12	5,596万	-457万
中区	13	+1	2,693万	+585万
南区	15	+2	2,018万	-88万
東区	7	-8	586万	-2,014万
美原区	13	+8	1,496万	+949万

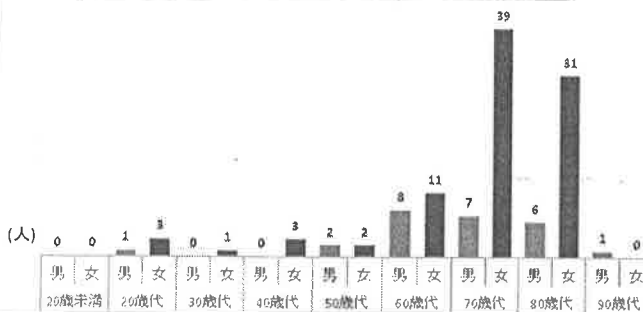
令和5年6月末	認知件数	前年比(件)	被害金額	前年比(円)
堺市	117	+74	2億8,308万	+2億3,786万
堺区	20	+10	4,464万	+3,723万
北区	17	+8	1億4,128万	+1億3,095万
西区	22	+15	1,555万	+1,259万
中区	9	+3	395万	-194万
南区	31	+25	5,278万	+3,821万
東区	13	+10	2,051万	+1,701万
美原区	5	+3	437万	+382万

手口別被害状況(1~6月)

※ 令和5年6月末の数値は速報値を示す。

特殊詐欺全体	認知件数				被害金額			
	令和4年(1-6月)	令和5年(1-6月)	増減		令和4年(1-6月)	令和5年(1-6月)	増減	
			件数	増減率			増減額	増減率
特殊詐欺全体	43	117	+74	+172%	4,522万	2億8,308万	+2億3,786万	+526%
オレオレ詐欺	2	6	+4	+200%	747万	1,690万	+943万	+126%
預貯金詐欺	6	13	+7	+117%	570万	596万	+26万	+5%
架空料金請求詐欺	12	43	+31	+258%	1,042万	1億7,485万	+1億6,443万	+1,578%
融資保証金詐欺	1	0	-1	-	243万	0	-243万	-
還付金詐欺	9	36	+27	+300%	481万	3,966万	+3,485万	+724%
キャッシュカード詐欺盗	13	18	+5	+38%	1,439万	3,411万	+1,972万	+137%
上記以外	0	1	+1	-	0	1,160万	+1,160万	-

被害者【年齢別・男女別】(令和4年中)



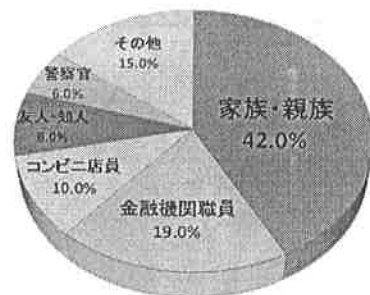
【総評】

- 令和4年は前年と比較して、認知件数は17件(約17.3%)増加したが、被害金額は約6,325万円減少した。
- 令和5年6月末現在では、前年同期比で特殊詐欺全体の認知件数は172%増加し、還付金詐欺と架空料金請求詐欺の増加が顕著である。
- 被害者の年齢別男女別では、70歳代・80歳代の女性が突出して多く、男女合わせて、60歳代以上の被害が全体の約89.6%を占めた。
- 第三者による未然防止のうち、家族・親族、金融機関職員によるものが約61%を占めた。

アポ電等の認知件数

	令和3年	令和4年	R5(1-6月)
アポ電	664	542	499
未然防止	105	88	98
被害認知	98	115	117

未然防止者(第三者)の内訳(令和4年中)



注) アポ電及び未然防止の件数は、堺市内を管轄する各警察署の報告を基にした件数である。(大阪狭山市を含む。)